



# 師 走

**Kid's☆garden**

この一年、皆さまはどのようなお気持ちで過ごされたでしょうか。私は人類の文明はこんなにも、もろく儚いものだったのだと改めて思い知らされた一年でした。11月は七五三詣に行かれた方も多かったのではないかと思います。“七つまでは神のうち”といい、医療が今ほど発達していない時代、まだ抵抗力のない子どもは常に死と隣り合わせであり、それは「神様から子どもを預かっている」と考えていました。昔はもっと不便で自然の驚異や人知の及ばない境地を日々実感しながら暮らしていたと思います。それ故、人類は謙虚で神々の存在は大きかったのではないのでしょうか。神前では誰しも素直な気持ちになり気持ちも自然と落ち着きます。普通の生活がこれ程までに尊く、また、たくさんの人々の努力や協力の下に社会が成り立っている[共生社会]ことを改めて強く感じました。これから先どんなに生活が便利になり快適な時代が訪れ、これまで以上に文明が発展しても、人類は自然界のほんの一部でしかなく、常に人知には限界がある事を謙虚な気持ちで忘れよないようにしたいと思います。

## 『我が家の子育て ㊦』木村家編 あじさい組

あじさい組の息子は何でも自分でやりたがる4歳児です。

小学校1年生のお姉ちゃんがいる、よくお姉ちゃんの真似をします。いろいろなことができるようになってきたとはいえ、まだまだ4歳、お姉ちゃんと同じようにやりたいのに思うようにできなかつたりすると泣いてしまい、しばらくご機嫌斜めに。

そんなときは、少しサポートをしますが、基本的には自分からどうしたいのかを言うてくるまで、なるべく口を出さないようにして見守ることにしています。口を出したくなる気持ちをぐっとこらえて見守ると、頑張ってきたときの息子の笑顔を見て、私たちも一緒にうれしい気持ちになります。でも出勤前の忙しい朝とついつい先に口を出してしまうこともあり、日々反省です…。

恥ずかしがり屋で自分の気持ちをお話するのが少し苦手な息子だからこそ本人のやりたい気持ちを大切にしたいので、まずは見守るということを心がけ、何でもチャレンジさせてあげたいと思います。

## 『門松づくり』自由参加イベントのご案内

お正月に「歳神(としがみ)」を招き入れるために門に飾る道具とされています。お正月に訪れる神様で、その一年の豊作と幸福を見守ると信じられています。来年こそいい歳にしようという思いも込めて、みんなで門松を作り飾りましょう!

□対象: 3才以上児は親子、未満児は大人のみ。

□日程・場所: 12(土) 10~12時・園庭にて

□費用: 1500円/家族(当日徴収)

□用意するもの: 軍手人数分(ゴム手可)、飲み物のこぎり(※各自で。目が細かい方が仕上がりがいいです。)

□参加申し込み締め切り: 12/4(金)

※事務所前に申し込み用紙を張ります。

このイベントは、園行事でハロウィンを行わなかった代わりに、より日本の伝統文化を意識した取り組みとして企画しました。

**みんなが楽しいクリスマス・お正月を迎える為にも  
各ご家庭の自主規制を強く求めます!!**

## 【12月スケジュール】

8(火) 避難訓練	【毎週月曜】
17(木) 歯科衛生教室(年長)	けやき組課外英語
24(木) クリスマス会	【毎週水曜】
誕生会(全クラス)	午前英語
28(月) 最終登園日	【毎週金曜】
29(火) ~1/3(日)	午前体操・課外新体操
年末年始休園	キッズダンス

連日の報道でご存知の通り、新型コロナウイルスの第3波が来ています。一日の感染者数も過去最高を更新し、比例して重症者数も増えています。コロナ患者が増える事で、医療崩壊が起きてしまう事も懸念されています。今のところ、保育園の方から特段の登園自粛を要請することは考えていませんが、小さい子ども達を守るのは我々の責務です。緊急事態宣言の時を思い起こして頂き、自主防衛で各ご家庭で保育園のご利用を今一度調整頂き、今後も方々にもコロナ感染者を出さないようにしたいと思います。ご理解の上ご協力の程、宜しく申し上げます。

【編集後記】先日、巣ごもり中に映画チャンネルで、冤罪で終身刑で服役している四人の映画をやっていました。その四人は捕まる前はやり手銀行員で、まじめに働いていました。刑務所生活に慣れるまで数年は苦勞しましたが、次第に四人仲間そして看守にも信頼を得て、いつか囚役労働から解放され、図書館係を任せられるようになり、刑務所環境の改善にまで取り組むようになりました。しかし、他の四人は本になんか大した興味もなく、今まで通り囚役労働に汗を流していました。ある日、彼の働きかけで新しい古本の蔵書が寄贈されました。その中に脱獄をテーマにした小説がありました。彼はそれを教育図書に分類しました。(笑)まさに求める人に求める物が届けられました。これをきっかけに、刑務所改革がさらに進み、高卒検定に挑戦合格する者も多く出ました。最後に彼自身も収監17年目に脱獄し、南の島で悠々自適な余生を送るところでエンディングとなりました。この映画は冤罪をテーマにしながらも、いくつもの気づきを与えてくれました。人は本能で希望の先(=ここでは脱獄)に、自然の欲求として足りないもの(=ここでは脱獄の為の知識)を求め、得た知識は活用しようとする。自己実現欲求が備わっている事。早速、私も無人島サバイバル生活を目指し、ヒロシのぼっちキャンプのDVDを観ようかと思います。園長 拝